

旅行業の成長と旅行者のニーズに関する一考察

前川 満

はじめに

東西冷戦が締結し、対立の時代から共存の時代へと世界は平和に向って大きく前進してはいるが、地域や国によっては民族問題や宗教問題が複雑に絡み、国際紛争が多発しているのも現在の情勢である。

一方、我が国は、戦後より永く続く平和の中で経済成長を謳歌してきたが、バブル経済崩壊、平成の大不況によって、経済の低迷、価格破壊や価格革命の現象が進行中であるし、政治においても新しい体制への模索期の混迷が続いており、いわゆる『混乱の時代』である。

このような社会情勢下においても、国民生活の中に深く組み込まれた『旅行』は、根強く支えられて盛況である。それは

『モノの豊かさ』よりも『心の豊かさ』を求める気持が国民の間に高まっているからではなからうか。『旅行』は、平和を象徴するものであるだけに、世界中が平和になり、『旅行』が盛んに行なわれる事を願わずにはいられない。

そこで『旅行』と言えば一般的には観光旅行の事である。この『観光』という語が日常生活においても多用されていて、一応は理解されている言葉ではあるが、一面では、これほど不正確に使用されている語は少ない。本来『観光』という字源は、中国の周の時代（紀元前十二世紀―三世紀まで）の書物である『易経』の中にある「国の光を觀す（他国を巡歴して、その地方の風俗や制度、文物を觀察する意味）」から引用されたものである。

我が国に於て一般的にこの『観光』という語が使われはじめたのは大正時代以後の事で、旅行一般、特に遊覧的な旅行

を意味するようになったのである。

『旅行』の定義^③については、観光行為の基礎現象は旅行行為である。『旅行』つまり、人の移動は其の目的から『仕事』が目的の移動の旅と、『移動自体が目的の旅』とに大別される。『仕事』が目的の移動の旅とは、その旅が利益的・物質的な有利性や功利性が主体のもので、それが本質であり、具体的には移住、商用、探険、視察、会議、業務、慶弔、研究、調査などがあげられる。『移動が目的の旅』とは、移動を行う事によって、その途中や目的地において精神的な充実や解放感、感情的な愉快性など、心を豊かに満たすものを得るのが本質であり、これが現代の旅と言われる『観光旅行』の事である。

次に『観光』の定義^③であるが、観光旅行は観光を目的とした旅行の事であり、自由な余暇活動の中での行為であって、娯楽・教養的なところを持ち、その目的や内容についてもさまざまであるが、一般的には見物、遊覧、保養、休養、スポーツ、体験、教養、信仰、文化、芸術鑑賞などである。この観光旅行は、国内旅行と海外旅行に種別分類されていて、その双方において個人・グループ旅行と団体旅行に構成分類されているのである。

一九八七年（昭和六十二年）日本の貿易黒字に対する諸外

国からの圧力により、その黒字減らしの為に運輸省が作成した『海外旅行倍増計画、別称テン・ミリオン計画（昭和六十二年〜平成三年までの五ヵ年）』^③は、その目標を一年早く達成するなど、現在、日本の観光旅行はブームの域を越えて衣・食・住に及ぶほど国民生活の中に位置づけられており、欠かせないものとなっているのである。

では何故、この様な旅行ブームと言う社会現象が盛んになったのであろうか。『旅』とは、本来個性的なものであるのに、それを商品化し大量に販売する事によって飛躍的な成長を続ける旅行業界との連関、つまり、現代のメカニズムの解明について、(1)旅とは、どの様なものなのか。(2)旅行の時代的変遷。(3)日本における戦後からの旅行需要と、旅行業の急成長。(4)今後の旅行などをポイントとして、何故、日本人の旅行が盛んなのか。人と人との出会い、係わり合いが社会学の原点であるだけに、正に『旅』は、数多くの人達との係わり合いによる社会的行為であると言えよう。そして、その社会的現象が社会の動きと共に変貌していく旅行者のニーズと相互に作用しながら繁栄し巨大化していく旅行業との因果関係についての視点のもとに考察を進めたい。

一、旅行幹旋業から旅行業へ

旅行業は、新しい産業である。旅行業を定義づけると「旅行者と、旅館・ホテルなどの宿泊施設、JR各社や私鉄・航空会社・バス・船舶等の運輸機関との間にあって、旅行者に対し手配・予約・幹旋などのサービスを提供して、それらから各々手数料を報酬として得ている事業者」の事である。

旅行業者で最も古い伝統を持つのは、明治三十八年（一九〇五年）に創立（旧名、日本旅行会）の日本旅行である。少し遅れて明治四十五年（一九一二年）に政府機関として訪日外国人観光客の為に、現在の日本交通公社の前身である『ジャパン・ツーリスト・ビュロー』が設立されたが、これらが我が国の旅行業の始まりとされている。

旅行業と言うものが一般的に誕生したのは、昭和二十七年（一九五二年）に旅行幹旋業法が制定⁵⁾されてからである。この法律は、戦後すでに六年余り経過し国民生活も着実に向上したのと、国内旅行が日毎に増加し、また訪日観光客が増加してきた為に旅行幹旋業者の数も急激に増加したのである。

その中には悪質な業者も少なくはなく、各地に老いて旅行費用の詐欺、客の交通費や宿泊料など旅行費の着服などの被害

が多発、また外国人観光客に対する旅行幹旋の強要、幹旋料の不当要求などの事件が発生した。これを放任しては国民の旅行の健全化を阻害するだけでなく、訪日観光客にも悪影響を与えるとして、悪質業者の取締りと旅行幹旋業者の健全な育成を目的にして制定されたのである。そして昭和三十九年（一九六四年）四月には海外観光渡航が自由化（この年の海外渡航者数一三九、九四五人）され、今後急激に増加すると予測される国内・海外旅行者の為に、消費者保護を目的として第四次改正が行われた。昭和四十六年（一九七一年）の第六次改正は、法律の全面大改正で、法律題名も『旅行業法』と改められたのである。その趣旨は、国民の生活水準の向上と余暇時間の増大などによって、観光旅行などの旅行需要の急速な増大にともなう旅行の大型化、あるいは旅行幹旋業者の主催する各種の企画旅行の増加など、国民の旅行形態が質・量ともに大幅に変化している現状に、現行の旅行幹旋業法の規定では旅行者保護の視点から不十分だとして、また、前年の昭和四十五年にブリュッセルで採決された『旅行契約に関する国際協定』（通称ブリュッセル条約⁷⁾）から受けた影響もあって「消費者としての旅行者の保護」の立場を明確にして、旅行業者に業務責任を持たせたのである。

旅行業は、一般旅行業、国内旅行業、旅行業代理店業と三

区分されている。平成五年における業者数は、一般旅行者八八四社、国内旅行者六、八九九社、旅行業代理店業者（一般四、四八六社、（国内）七一社、旅行者総数一二、三四〇社^⑧）である。旅行者の実態は、その九三％は一〇〇名以下の小規模業者で、全体の七％を占めるにすぎない比較規模の大きな一般旅行者でも、その八〇％は社員五〇名以下、営業所数一〇ヵ所以下の零細経営^⑨である。一方、社員数が一、〇〇〇名以上、営業所数一〇〇ヵ所以上の旅行会社は、わずか八社を数ぞえるのみである。その八社を規模順に並べると、日本交通公社、近畿日本ツーリスト、日本旅行、東急観光、日本通運、名鉄観光、阪急交通社、農協観光である。

旅行業はこの様に、他業者に比較して異なる経営体質の業界であり、営業規模の差が大きいのであるが、その原因として次の事が考えられる。(1)今迄国鉄（現JR）の個札などの各種乗車券や航空券の販売権が大手旅行会社に限定されていた事。(2)旅行業は対客サービスの為、サービスが提供できる範囲に限界がある事。(3)他に本業があつて、その販売促進の為に旅行業を兼業するケースが多い事。(4)小資本でも開業が可能である、などである。

これほど業者数が多いと、他産業の様に大手企業による寡占化は起こりにくく、仮に零細小規模業者が潰れても新規に

開業の業者も多く、この面でも寡占化は進みにくい業界と考えられているが、しかし現在は、業界全体の販売高に占める大手八社のシェアが年々増加して六五％を占めると推定されるし、商品供給の武器でもあるコンピュータ化や、旅行業法による代理店業者との親子関係、つまり海外旅行商品販売の下請けによる系列化が進行中であり、零細小規模業者は自社での商品造成能力が無いから、一般旅行業の大手大企業のいずれかの系列に加わらないと生きていけなくなっている。その意味においては、旅行業界も大企業による寡占化が進行しているのである。

二、欧米人の旅行形態、日本人の旅行形態

日本人の海外旅行者は一九九二年（平成四年）には一、〇〇〇万人を超えたが、世界中ではどれくらい旅行人口があるのだろうか。

『世界観光機関（WTO）』による一九九二年度の世界旅行人口は四億七、五六〇万人（前年比四・五％増）と推計されており、今世紀末には世界の旅行人口は五億人に達するものと見られている。旅行費用は、一九八六年当時で総ての旅行を含めた世界の観光支出の総合計は二兆ドルを突破した、

一日当りにすると五五億ドルである。世界のGNPの一二％は観光から生み出されているし、この二兆ドルという数字は一九八六年の世界の軍事費九、〇〇〇億ドル（国連推定^①）の二倍以上である。これによっても平和がいかに国民生活にとって重要であるかが理解されるのである。そして、観光産業は間違いなく世界最大の産業であると言えよう。

さて、世界の旅行者を大別すると、個人・グループを主体とする欧米人と、団体旅行を主体に集団行動をする台湾・中国などアジアの人達、特に日本人の海外旅行中の集団行動は、良し悪し共に現地の人達には一種の異様として見られている。勿論、欧米の人達も団体でも旅行はするが、しかし欧米人の個性尊重的行動と、日本人の画一的行動とは基本的に異なるものなのである。その根本的要因は、狩猟民族の欧米人と農耕民族の日本人との相違であろうと考えるのである。欧米人は、一般論的に言えば獲物を追っての大陸間の移動や、大航海時代を築いた冒険精神、新大陸を開拓した「フロンティア精神」といったものを生活の中に、そして旅行の中にも持っているのに対し、アジアの人達、特に日本人は古代よりの農耕民族としての永い年月に亘る『イエ』社会による集団意識が根強く、単一民俗性・島国性や言語の問題とも相俟って、それが旅行の形態にも現われているのである。すなわち旅行

者が圧倒的に多い欧米では、個人の主体性に基づいて自分達で旅行プランを決め、必要なクーポン券類を旅行社で購入するから、旅行社は小規模店での業務でも賄えるのであるが、日本人の場合は集団性による団体旅行を主体にするから、団体係や添乗員といった部門が必要であり、旅行社社の業務内容も増加し規模も大きくなるのである。

近年、海外旅行が自由化された台湾や韓国の人達の旅行形態は日本人のそれとよく似ているが、特に台湾（中国）の人達の旅行は、家族や一族で集団を作り短いものでも十五日程はかけた旅行を実施している。この様に旅行形態にも、それぞれの国民性・民族性・社会性・地域性が表れているのである。

三、旅行者のニーズの変化

海外旅行も一般化するに従って海外旅行経験者（Traveler）が増え、そのニーズが変化している。国内旅行に於いても、以前のような男性中心の宴会主体型団体旅行から現在では、家族や女性主体型個人・グループ旅行に変化している。この傾向は、旅行者主導の団体旅行形態より変化して、旅行者主導の個人・グループ旅行形態に変化しているのである。この

ことは、いわゆる旅行の個性化であり、『量から質へ』の転換であって、多様化・個性化していく旅行者のニーズの変化であると考えるのである。

旅行業もその流れの変化に対応し、旅行商品の多様化・個性化・格安化に努め、従来の団体主導体質から個人旅行主導の店頭販売を強化して機械化による大量販売の体制を整え、若者や女性好みのファッション性店舗に営業力点を置いて、販売の拡大、業績の向上、そして情報産業としての使命のもとに、各旅行会社が生き残りを賭けて鎬を削っているのが現状なのである。

むすび

我が国の国民生活は欧米の先進国に比較して、まだまだ経済力に見合った豊かさを実感できる生活とは言えないが、近年、日本人の働き過ぎに対する世界各国よりの批判も受けて、法定労働時間の短縮、週休二日制、及び連続休暇が普及拡大されている。また、それに伴って余暇活動が重要視されているが、その様な社会情勢の中でレジャーの筆頭である『観光旅行』は、国内旅行では延べ三億人を超えているし、海外旅行も一、〇〇〇万人を突破している。言うなれば空前の旅行

ブームである。この社会現象についてを考察する上で『旅』というものを歴史的にも研究してきたのであるが、『旅』は時代と共に、そして平和な社会と正比例して行われ、盛衰を繰り返しながら発展してきたのである。

明治維新後の近代社会となってからは加速化していき、昭和二十年の終戦後の民主主義による平和な社会の到来以後は、『観光旅行』が本格化していったのである。

昭和三十年代に入ってから、観光は大衆化の時代となり観光旅行は国民各層に広まっていった。その基礎的条件には、昭和二十三年の「旅館業法」、昭和二十四年の「国際ホテル整備法」の制定、昭和二十五年には「国鉄推薦旅館連盟」の発足、昭和二十七年の「旅行斡旋業法（昭和四十九年に旅行業法に改正）」や、国鉄周遊券の復活など、観光に対しての整備が進められた事などがある。

昭和三十年代後半からの日本経済の高度成長によって『観光旅行』は、マイカーブーム、高速自動車道の建設、東海道新幹線の開通などによって国民一般大衆のものとなり、そしてそれが旅行ブームと言われる社会現象となっていったのである。

この様にして戦時の耐乏期や戦後の混乱期における食糧や仕事などを求めている『仕事为目的の移動の旅』から、経済成

長期よりの『移動が目的の旅』、いわゆる『現代における観光の旅』が国民生活に入り、生活の一部分として成長する迄になっていったのである。

旅行自由化の当初、つまり昭和三十年代は団体旅行が主流であった。その要因は、その構成内容にあると考えられる。すなわち、日本の産業界におけるメーカー、問屋、小売店、消費者という流通機構がそれぞれに、そしてまた、その他の総ての業界においても、その顧客層を対象にした販売促進、つまり利潤獲得の手段として『観光旅行』を招待旅行として採用し、団体によって実施したのである。また、企業等では社内相互のコミュニケーションを計る事で生産性を向上させるべく、それを主目的とした職場旅行も当然として団体旅行形式によって行ったのであるが、これら団体旅行は、大体において利益性を根底にしたゲゼル・シャツト的(利益社会的)集団でもあり、別の視点からすれば日本の民俗性である『イエ』制度に由来する『ウチ(内輪)』と言う意識による独特のムラ社会性が、日本的集団主義によって『団体旅行』を盛んにしたのではなからうか。

団体旅行は、旅行会社(添乗員)主導による統一的な集団行動であり、それはある意味において日本独特のものである。一例をあげれば、日本の旅館における大広間での大宴会、

大浴場などで証明されるし、また当時の団体旅行構成層は我が国古来からの『イエ』制度を反映して、家長的な男性が主体であったのである。

一方、受入側である全国各地の旅館ホテルなどの宿泊関係、運輸機関、食事、土産品店や観光施設などでは、利益性の面から団体旅行を大歓迎し、個人客よりも団体客を特別に優遇しており、それは現在においても同様である。旅行者も同じく業務の中心は団体旅行の獲得である。その背景には、運輸省や国鉄(現JR)、日本航空などの許認可権^①(国鉄個札など乗車券類や航空券の販売権)の問題で、日本交通公社などに販売権が限定されていたので、他の総ての旅行者等は、必然的に団体旅行しか扱う事が出来なかった点も見逃せない事実である。今日では少しこの販売権の枠は広まったが、この図式は現在も継続されており、旅行業法による大手企業と中小業者の親会社・子会社の関係、つまり現実的系列化の要因でもある。その様な中で旅行者等は、熾烈な団体獲得のセールス戦を展開しながら業績を伸ばして成長してきたのである。

男性中心の団体旅行が隆盛の状況の中で、女性も古い因習から次第に解放されるに従って、旅行を楽しむ様になっていったのであるが、その事は、後日のゲマイン・シャツト的(家族、親和、共同社会的)な個人・グループ旅行が盛況になっ

ていく基となったと考えるのである。

日本の国民は、昭和三十年代後半よりの高度成長と共に、『旅』の経験を重ねるにつれて、旅の本質である『心を満たす旅』を求める様になったのと、核家族化による生活様式の変化、マイ・ホーム主義の浸透などによって、昭和五十年代（一九七五年）以降は、家族・友人などが主体の個人・グループ旅行が主流を占める様になり、旅行内容も団体中心の宴会型から個人・グループ中心の個人旅行型へ、そして『心を満たす旅』を求めて、旅行者のニーズは時の流れと共に大きく変化しているのである。

旅行者の、この変化に対応して旅行業者も、その業務を大きく変化せざるを得なくなった事と、運輸省監督下の国鉄（現JR）、航空会社なども、収益性重視の立場から許可可の枠を広げざるを得なくなり、大手五社という大規模業者でも上位四社（日本交通公社、近畿日本ツーリスト、日本旅行、東急観光）だけであった国鉄（現JR）の普通乗車券（個札）や各種乗車券の代売認可を中堅上位の旅行業者¹⁴に与え、販売窓口の拡大化により利益の増大を図ったのである。それに伴って国鉄出身者の旅行業者への天下りは、国鉄（現JR）の各種乗車券、とりわけ旅行業者に旨味のある普通乗車券の委託代売権¹⁵が絡んでくるのである。

旅行業者は旅行者のニーズの変化に対し、営業機構を団体旅行中心体制から店頭販売強化体制へと変化させ、個人・グループ向けの旅行企画商品が、ファッション性豊かに整備改装された店舗のカウンター（店頭販売）においての販売が強化拡大されているのである。また、商品内容においても旅行者のニーズの多様化を充実させる努力が行われているが、利潤追求の本質から個人やグループ客を出発日や旅行方面別に集約し、団体旅行型商品に編成する事によって団体割引運賃の適用など各種のメリットを出し、対客には、格安な旅行商品とする事によって大量集客と高収益を得て旅行業は成長を続けているのである。また大手旅行会社は店頭販売商品などを機械化し、その端末機を（自社使用分以外）中小旅行業者に設置して系列に組み入れ、旅行企画商品パーツを大量に仕入れ、それを商品化し、販売の拡大によるスケール・メリットを出すために、ピラミッド型に組織化・巨大化を行っているのである。

この様に考察を進めた事による問題点として、(1)『旅』は、この地球上に人類が誕生した太古の時代から存在するもので、その空間移動は人類が生きる為に必要性を帯びた『目的の為の移動の旅』であり、永い年月に亘って行われてきたものである。しかし『旅』とは、本来その様なものではなく、『移

動そのものが目的』である、いわゆる『無用の用の旅』が旅の本質であり、『旅』の本流となすものである。(2)『無用の用の旅』であり、本来、人々にとって自由であるべき『旅』が、資本主義の論理によって『商品』とされた事である。言うなれば、この商品化されているところに『現代の旅』があるのである。

旅行業に関して欧米の先進国では、他業種同様、自由競争の原理によって営業活動が展開されているが、日本においては運輸省やJ.R.、日本航空など、いわゆる権力機関や権力企業などの許認可権が、本来、自由なものであるべき旅行や無用の用の旅である『観光旅行』の分野にも、深く関連しているところに問題があると考察するものである。

現代の日本は平成の大不況下にあると言われている。加えて本年(平成五年)度の稲作は冷夏によって昭和九年(一九三四年)以来の凶作であり、最悪の年とマスコミは報道しているし、国民生活では、消費行動の中でバブル経済の崩壊と共に『モノ信仰』離れが急速に進んでいる。その様な中で日本人の生活観は、ここ数年の間に『モノの豊かさ』から『心の豊かさ』を求める方向に大きく変化してきている。さらには成熟社会と時短等による余暇増大の、時の流れが加わって企業社会が凡てや働き過ぎの人生だけでなく、余暇を生かし

た別の人生や、家族達との生活を重視する動きも確実に始まっている。『モノ離れ』『余暇時間の増大』『自分なりの人生』といった時代的傾向が強まれば、当然、レジャーや旅行の需要は増加するであろう。しかし、これからの旅行やレジャーは高度成長期のように、限られた時間内に観光地を忙しく回ったり、金銭やモノを贅沢に消費する乱費型ではなく、ゆっくりと自分の好みで家族や気の合った仲間と楽しく過ごすという、『旅』本来の『心を満たす旅』が求められており、それが今日では主流となりつつあるのである。

忙しく『モノ』を作り『モノ』を大量に輸出したり『モノ』を購入したりの経済消費行動から、地球規模での資源や環境の保護を中心に、ゆっくりと、そして楽しく『トキ』を過ごす文化消費行動にと、日本だけでなく世界の国の人達が共に生きる喜びと豊かさを見出す時代となれば、これからの二十一世紀にかけては、正しく国際的な『大旅行時代』になるであろう。

旅行業も、未来に向ってのビジョンとして、旅の本質である『心を豊かに満たす旅』を作り続ける努力をしてほしい。なぜならば、その事が旅行業をより成長させる事になるであろうし、それが平和産業としての旅行業の使命である、と確信するからである。

- (1) 末武直義 著 『観光事業論』 法律文化社 六頁。
- (2) 末武直義 著 『観光事業論』 法律文化社 七頁。
- (3) 末武直義 著 『観光事業論』 法律文化社 十頁。
- (4) 総理府 編 『平成四年版 観光白書』 九三頁。
- (5) 皆川慎吾 編著 『旅行業界』 教育社新書 十四頁。
- (6) 運輸省観光部旅行業課 監修 『平成二年版 旅行業実務六法』 東京法令出版 一頁～一二二頁。
- (7) 杉岡碩夫、尾崎成男、溝尾良隆 著 『旅行業』 東洋経済新報社 二四四頁。
- (8) 総理府 編 『平成五年版 観光白書』 二五八頁。
- (9) 秋場良宣 著 『旅行業の未来戦略』 日本能率協会マネジメントセンター 五三頁。
- (10) 総理府 編 『平成五年版 観光白書』 五六頁。
- (11) 横山元昭、桜井幹男 著 『羽旅行・航空』 実務教育出版 二六頁。
- (12) 杉岡碩夫、尾崎成男、溝尾良隆 著 『旅行業』 東洋経済新報社 一三五頁。
- (13) 依田薫 著 『日本の許認可制度のすべて』 日本実業出版社 四八頁～四九頁。
- (14) 皆川慎吾 著 『旅行業界』 教育社新書 二四〇頁～二四一頁。
- (15) 杉岡碩夫、尾崎成男、溝尾良隆 著 『旅行業』 東洋経済

新報社 一八三頁～一八四頁。

参考文献（引用文献を除く）

- 『日本社会経済史Ⅰ・Ⅱ』 三宅正彦 著 佛教大学。
 『日本社会経済史Ⅲ・Ⅳ』 阪上みつ子 著 佛教大学。
 『現代観光論』 鈴木忠義 編 有斐閣双書
 『伊勢参宮』 宮本常一 著 社会思想社。
 『観光学概論』 小池洋一、足羽洋保 編著 ミネルバ書房。
 『日本の集団主義』 濱口恵俊、公文俊平 編 有斐閣選書
 『臨三三一に乘れ』 城山三郎 著 近畿日本ツーリスト
 （通信教育部 平成六年三月卒業生）

付記

本稿は、卒業論文『旅行業の成長と旅行者のニーズに関する一考察』の一部を加筆修正したものである。

テン・ミリオン計画の成果

| | 昭和61年 | 昭和62年 | 昭和63年 | 平成元年 | 平成2年 |
|------------------------|----------------|--------------|----------------------|-----------------|----------------------|
| 日本人海外旅行者数(千人) | 5,516 | 6,829 | 8,427 | 9,663 | 10,997 |
| (対前年比伸率(%)) | +11.5 | +23.8 | +23.4 | +14.7 | +13.8 |
| 日本人出国率(%) | 4.5 | 5.6 | 6.9 | 7.8 | 8.9 |
| 地方空港からの出国者の比率(%) (注1) | 12.0 | 12.1 | 12.8 | 13.7 | 15.2 |
| 地方空港発着の国際定期路線数 | 31 | 34 | 42 | 50 | 58 |
| 日本人外航客船旅行者数(千人) | 87 | 103 | 120 | 142 | 158 |
| 高校海外修学旅行参加人員(人) (注2) | 29,597 | 36,658 | 50,961 | 56,309 | 54,485 |
| 海外旅行促進ミッション 派遣回数(回) | 1 (オーストラリア) | 2 (中国・タイ) | 2 (メキシコ・ スペイン) | 1 (ニュージーランド) | 3 (マレーシア・ 英・米) |
| 旅行収支(百万ドル) | △5,766 | △8,663 | △15,789 | △19,347 | △21,350 |
| 貿易収支との比率(%) | 6.1 | 8.9 | 16.6 | 25.1 | 33.5 |

(注1) 東京・新東京・大阪以外の空港からの出国者の比率。

(注2) 勸日本修学旅行協会の調べによる。

旅行業者数の推移

| 区分 年 | 一 般 旅行業者 | 国 内 旅行業者 | 旅 行 業 代 理 店 業 者 | | | 合 計 |
|---------|-------------|-------------|-----------------|-----|-------|--------|
| | | | 一 般 | 国 内 | 小 計 | |
| 元 | 653 | 5,969 | 3,047 | 60 | 3,107 | 9,729 |
| 2 | 716 | 6,242 | 3,554 | 61 | 3,615 | 10,573 |
| 3 | 781 | 6,513 | 3,848 | 61 | 3,909 | 11,203 |
| 4 | 837 | 6,727 | 4,203 | 68 | 4,271 | 11,835 |
| 5 | 884 | 6,899 | 4,486 | 71 | 4,557 | 12,340 |

(注) 1 運輸省運輸政策局観光部資料による。

2 各年の1月1日現在の数である。

J R 乗車券販売旅行業者

(昭和61年10月1日現在)

| 会 社 名 | 所 在 地 | 代 表 者 | 資本金 百万円 | 営 業 所 名 | | 委 託 業 務 内 容 及 び 委 託 時 期 | | | | | | 60年度発売実績 | | 職員数 (人) |
|---------------------|-------------------------|-------|------------|---------|-------|-------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|--------|------------|
| | | | | | | J R | 団 体 券 | ミ ニ | ワ イ ド | 普通周遊 | 定 期 券 | 一 般 券 | (百万円) | 対 前 年 |
| (株)日本交通公社 | 千代田区丸ノ内1-6-4 | 石田 博 | 1,600 | 274 | 262 | 大 3. 1 | 昭45.10 | 昭31. 7 | 昭30. 2 | 大 3. 1 | 大 3. 1 | 355,362 | 109.6 | 10,273 |
| (株)日本旅行 | 港区新橋2-20-15 | 関根 昇一 | 1,000 | 252 | 212 | 昭32. 1 | 45.10 | 35. 9 | 35. 9 | 昭41.10 | 昭44. 5 | 128,592 | 108.6 | 4,505 |
| 近畿日本ツーリスト(株) | 千代田区神田松木町19-2 | 明石 孝 | 4,704 | 245 | 172 | 32. 1 | 45.10 | 41. 8 | 41. 8 | 52. 4 | 52. 4 | 72,825 | 116.4 | 5,072 |
| 東 急 観 光 (株) | 渋谷区渋谷1-16-14 | 森垣 常夫 | 2,336 | 151 | 128 | 33. 5 | 46. 5 | 47. 7 | 47. 7 | 56. 4 | 56. 4 | 41,763 | 130.7 | 2,868 |
| 名鉄観光サービス(株) | 名古屋市中村区名駅4-4-8 | 犬飼 栄輝 | 300 | 121 | 83 | 39. 7 | 47.10 | 51. 4 | 52. 4 | 58. 5 | 58. 5 | 9,911 | 138.1 | 1,814 |
| 東武トラベル(株) | 墨田区向島1-33-2 | 橘田 成雄 | 490 | 68 | 55 | 32. 1 | 47.10 | 51. 4 | 51. 4 | 58. 7 | 58. 7 | 4,911 | 120.4 | 882 |
| 京 王 観 光 (株) | 新宿区西新宿2-6-1 | 芝辻 利夫 | 100 | 39 | 28 | 44. 9 | 48.10 | 51. 4 | 52.11 | 58. 7 | 58. 7 | 2,877 | 132.6 | 451 |
| (株)日本交通観光社 | 千代田区外神田2-4-4 | 古武 秀夫 | 93 | 64 | 54 | 36. 7 | 47.10 | 51. 4 | 51. 4 | 46.11 | 58.11 | 10,518 | 116.2 | 2,385 |
| (株)全国農協観光協会 | 新宿区神楽坂1-1 | 松井 信勝 | 293 | 109 | 59 | 47.10 | 51. 4 | 54. 4 | 54. 4 | 59. 9 | 59. 9 | 6,426 | 130.2 | 1,311 |
| (株)日本観光倶楽部 | 熊本市水前寺6-27-25 | 伊木潤二郎 | 30 | 11 | 11 | 44. 9 | 48.10 | 51. 4 | 54. 4 | 61. 4 | 61. 4 | 1,238 | 136.6 | 120 |
| (株)読売旅行 | 中央区銀座2-2-15 | 広川 三郎 | 51 | 51 | 15 | 47.10 | 51. 4 | 56. 4 | 56. 4 | 61. 4 | 61. 4 | 1,987 | 113.7 | 698 |
| (株)南海国際旅行 | 大阪市浪速区難波中1-10-4 | 嶋村 信男 | 320 | 25 | 19 | 47.10 | 51. 4 | 56. 4 | 56. 4 | 61. 4 | 61. 4 | 624 | 140.5 | 326 |
| (株)京阪交通社 | 大阪市東区北浜3-1 | 十都 重雄 | 60 | 26 | 8 | 52.11 | 56.10 | 56.10 | 56.10 | 61. 4 | 61. 4 | 1,580 | 143.0 | 375 |
| 西 鉄 旅 行 (株) | 福岡市中央区薬院3-16-26 | 西川 広 | 200 | 48 | 17 | 54. 4 | 58. 6 | 58. 6 | 58. 6 | 61. 4 | 61. 4 | 1,573 | 175.0 | 822 |
| 交通公社トラベランド興業 | 豊島区東池袋1-13-6 | 小泉 武 | 100 | 139 | 83 | 59. 2 | 59. 2 | 59. 2 | 59. 2 | 61. 4 | 61. 4 | 3,804 | 179.3 | 1,529 |
| 日 通 運 (株) | 千代田区外神田3-12-9 | 長岡 毅 | 48,920 | 139 | 25 | 56. 7 | 59. 8 | 59. 8 | 59. 8 | 61. 4 | 61. 4 | 2,356 | 209.6 | 1,634 |
| 日 旅 サ ー ビ ス (株) | 港区新橋5-10-6 | 諸隈 喜一 | 50 | 36 | 25 | 59. 8 | 59. 8 | 59. 8 | 59. 8 | 61. 4 | 61. 4 | 1,155 | 271.1 | 142 |
| 株小田急トラベルサービス | 渋谷区代々木2-28-12 | 滝上 隆司 | 70 | 36 | 9 | 58. 6 | 59.11 | 59.11 | 59.11 | 61. 4 | 61. 4 | 480 | 274.2 | 302 |
| 東 日 観 光 (株) | 川崎市川崎区駅前本町13-1 | 鈴木 真 | 80 | 17 | 8 | 52.11 | 60.10 | 60.10 | 60.10 | | | 759 | 102.4 | 192 |
| 共 立 観 光 (株) | 新潟県十日町市本町3 | 原田 健一 | 10 | 4 | 3 | 53. 4 | 60.10 | 60.10 | 60.10 | | | 193 | 93.2 | 39 |
| 広 電 観 光 (株) | 広島市中央区紙屋町1-2-23 | 倉田 信雄 | 60 | 8 | 1 | 53. 4 | 60.10 | 60.10 | 60.10 | | | 282 | 116.5 | 104 |
| (株)ツーリストサービス | 中央区日本橋人形町3-4-14 | 佐野 俊夫 | 80 | 27 | 12 | 61. 4 | 61. 4 | 61. 4 | 61. 4 | | | | | 146 |
| (株)沖縄旅行社 | 那覇市松尾町1-1-1 | 山元 暁 | 49 | 8 | 1 | 49. 4 | | | | | | 9 | 100.0 | 141 |
| (株)朝日旅行会 | 千代田区神田岩本町2 | 岩木一二三 | 80 | 11 | 4 | 51. 4 | | | | | | 533 | 114.4 | 178 |
| (株)トラベル日本 | 千代田区有楽町2-2-1 | 小泉 和久 | 250 | 14 | 10 | 51. 4 | | | | | | 227 | 93.0 | 172 |
| (株)毎日企画センター | 千代田区一橋1-1-1 | 大野宗次朗 | 80 | 3 | 3 | 51. 4 | | | | | | 152 | 125.6 | 28 |
| (株)日本鉄道旅行社 | 新潟県新潟市本町1-7-46 | 金子 真二 | 5 | 4 | 3 | 52.11 | | | | | | 66 | 83.5 | 35 |
| 山 新 観 光 (株) | 山形市旅籠町2-5-12 | 服部 利康 | 50 | 10 | 4 | 52.11 | | | | | | 42 | 105.0 | 87 |
| (株)タイムス観光 | 札幌市中央区北4条西4丁目 | 黒田 清 | 40 | 2 | 1 | 52.11 | | | | | | 3 | 60.0 | 17 |
| 山陽観光サービス(株) | 下関市竹崎町4-2-21 | 伊藤小太郎 | 10 | 17 | 2 | 53. 4 | | | | | | 132 | 91.0 | 66 |
| (株)長野旅行 | 長野市末広町1356 | 藤岡 政勝 | 30 | 2 | 1 | 53. 4 | | | | | | 121 | 117.5 | 12 |
| ニューワールドツーリスト中国観光(株) | 広島市南区松原町6-5 | 砂田 寿夫 | 36 | 3 | 3 | 53. 4 | | | | | | 45 | 100.0 | 28 |
| (株)新潟日報旅行社 | 新潟市東中通一番町86-29 | 畠山 武司 | 80 | 2 | 2 | 58. 6 | | | | | | 58 | 105.5 | 27 |
| (株)防長トラベルサービス | 徳山市有楽町23 | 光井 亨 | 35 | 13 | 1 | 58. 9 | | | | | | 108 | 127.1 | 187 |
| (株)藤田トラベルサービス | 中央区銀座7-2-22 | 秋山 昌弘 | 150 | 20 | 2 | 60.10 | | | | | | 103 | — | 212 |
| (株)京阪ツーリスト | 京都市下京区油小路木津唐橋下ル北不動堂5705 | 岩波国三郎 | 47 | 6 | 1 | 60.10 | | | | | | 15 | — | 74 |
| 東 芝 ツ ー リ ス ト (株) | 中央区銀座6-4-4 | 高瀬 健三 | 50 | 12 | 1 | 61.11 | | | | | | — | — | 141 |
| 合 計 | 37 社 | | | 2,017 | 1,328 | 37 社 | 22 社 | | | 18 社 | | 650,982 | 1113.0 | 37,396 |

一般旅行業者の専業率

(昭和58年) (単位：社、%)

| 旅行部門 従業員数区分 | 旅行業者数 | 構 成 比 | 専 業 率 |
|----------------|-------|-------|-------|
| 50人以下 | 362 | 78.2 | 32.0 |
| 51～ 100人 | 48 | 10.4 | 11.7 |
| 101～ 500人 | 40 | 8.6 | 20.7 |
| 501～1,000人 | 6 | 1.3 | 48.6 |
| 1,001人以上 | 7 | 1.5 | 34.5 |
| 計 | 453 | 100.0 | 28.2 |

(注) 専業率=旅行専門従業員数÷全従業員数×100

資料：運輸大臣官房観光部

旅行業者の兼業状況

(単位：社、%)

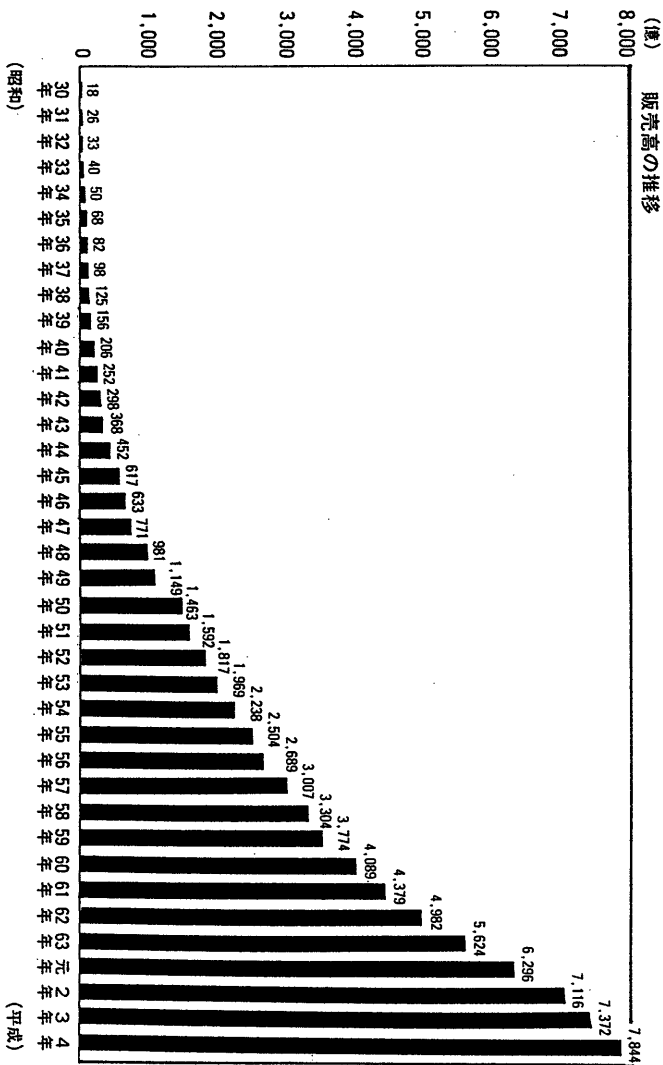
| 区 分 | 一 般 旅 行 業 者 | | | | 国内旅行業者(60年) | |
|---------------|-------------|------|-------|-------|-------------|-------|
| | 業 者 数 | | 構 成 比 | | 業者数 | 構成比 |
| | 44 年 | 58 年 | 44 年 | 58 年 | | |
| 業 者 数 | 77 | 463 | 100.0 | 100.0 | 4,219 | 100.0 |
| 非 兼 業 | 22 | 93 | 28.6 | 20.1 | 2,113 | 50.1 |
| 兼 業 | 55 | 370 | 71.4 | 79.9 | 2,106 | 49.9 |
| 地 方 鉄 道 業 | 3 | 4 | 5.5 | 1.1 | 49 | 1.5 |
| 旅 客 運 送 業 | 15 | 32 | 27.3 | 8.6 | 404 | 12.1 |
| 海 上 運 送 業 | 8 | 7 | 14.5 | 1.9 | 65 | 1.9 |
| ホ テ ル ・ 旅 館 業 | 2 | 17 | 3.6 | 4.6 | 129 | 3.9 |
| 土 産 品 業 | 4 | 24 | 7.3 | 6.5 | 122 | 3.7 |
| 出 版 業 | 4 | 19 | 7.3 | 5.1 | 38 | 1.1 |
| 物 品 販 売 業 | — | 4 | — | 1.1 | 27 | 0.8 |
| 不 動 産 業 | — | 44 | — | 11.9 | 245 | 7.3 |
| 保 険 代 理 店 業 | — | 312 | — | 84.3 | 835 | 25.0 |
| 広 告 宣 伝 業 | — | 39 | — | 10.5 | 138 | 4.1 |
| そ の 他 | 43 | 178 | 78.2 | 48.1 | 1,284 | 38.6 |
| (飲 食 店) | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 79 | 676 | — | — | 3,336 | 100.0 |
| 1 社 当 り 兼 業 数 | 1.44 | 1.83 | — | — | 1.58 | — |

(注) 一般旅行業者の業種別構成比は「兼業」業者数を100とした比率。

資料：運輸省大臣官房観光部

参考資料

近畿日本ツーリスト販売高の推移



2 主要業者別販売実績

(単位：千円、%)

| 年度 社 名 商品種別 | | 昭和63年 (1988) | | | 平成元年 (1989) | | | 平成2年 (1990) | | | 平成3年 (1991) | | | 平成4年 (1992) | | |
|----------------|-------|-----------------|-------|------|----------------|-------|------|----------------|-------|------|----------------|-------|------|----------------|-------|------|
| | | | 前年比 | 占有率 | | 前年比 | 占有率 | | 前年比 | 占有率 | | 前年比 | 占有率 | | 前年比 | 占有率 |
| 近畿日本 ツーリスト | 国内旅行 | 352,930,577 | 109.0 | 16.6 | 389,975,055 | 110.5 | 17.3 | 429,429,386 | 110.0 | 17.5 | 480,548,437 | 111.6 | 18.4 | 501,785,130 | 102.7 | 19.2 |
| | 海外旅行 | 187,408,533 | 122.1 | 18.9 | 215,421,733 | 114.9 | 19.2 | 256,371,344 | 119.0 | 19.6 | 239,982,650 | 93.7 | 20.0 | 275,890,310 | 115.0 | 20.6 |
| | 外国人旅行 | 2,797,096 | 126.6 | 12.7 | 3,940,306 | 140.9 | 14.2 | 5,490,096 | 139.3 | 17.3 | 6,102,161 | 111.1 | 17.7 | 4,161,661 | 68.2 | 12.8 |
| | その他 | 19,221,393 | 102.5 | 31.8 | 20,297,152 | 105.6 | 31.2 | 20,312,688 | 100.1 | 27.8 | 10,592,353 | 54.2 | 16.5 | 2,607,710 | 45.2 | 4.4 |
| | 計 | 562,356,599 | 112.9 | 17.6 | 629,634,246 | 112.0 | 18.2 | 711,603,514 | 113.0 | 18.4 | 737,225,603 | 103.6 | 18.9 | 784,444,811 | 106.4 | 19.4 |
| 日本交通公社 | 国内旅行 | 809,684,158 | 94.3 | 38.1 | 858,782,809 | 106.1 | 38.1 | 948,294,998 | 110.4 | 38.7 | 1,013,459,012 | 106.7 | 38.9 | 1,012,891,959 | 99.9 | 38.7 |
| | 海外旅行 | 339,163,774 | 121.9 | 34.3 | 396,413,075 | 116.9 | 35.4 | 480,049,318 | 121.1 | 36.8 | 459,177,822 | 94.4 | 38.2 | 511,281,919 | 111.4 | 38.2 |
| | 外国人旅行 | 10,058,161 | 87.4 | 45.6 | 12,524,164 | 124.5 | 45.0 | 14,190,469 | 113.3 | 44.7 | 15,181,014 | 107.0 | 44.0 | 15,283,489 | 100.7 | 47.1 |
| | その他 | 10,906,993 | 119.1 | 18.1 | 11,092,404 | 101.7 | 17.0 | 12,392,695 | 111.7 | 17.0 | 14,183,851 | 114.5 | 22.1 | 15,709,834 | 110.8 | 26.6 |
| | 計 | 1,169,813,086 | 101.0 | 36.6 | 1,278,452 | 109.3 | 36.9 | 1,454,927,480 | 113.8 | 37.7 | 1,502,001,699 | 102.7 | 38.4 | 1,555,167,201 | 103.5 | 38.4 |
| 日本旅行 | 国内旅行 | 333,800,766 | 102.2 | 15.7 | 349,625,183 | 104.7 | 15.5 | 370,674,193 | 106.0 | 15.1 | 386,288,413 | 99.3 | 14.1 | 349,638,932 | 94.9 | 13.4 |
| | 海外旅行 | 123,849,007 | 124.1 | 12.5 | 149,435,917 | 120.7 | 13.3 | 178,318,280 | 119.3 | 13.7 | 156,359,582 | 87.7 | 13.0 | 180,886,662 | 115.7 | 13.5 |
| | 外国人旅行 | 4,024,234 | 129.1 | 18.3 | 4,376,153 | 108.7 | 15.7 | 5,148,016 | 117.6 | 16.2 | 5,835,938 | 113.4 | 16.9 | 5,498,915 | 94.2 | 17.0 |
| | その他 | 356,922 | 84.3 | 0.6 | 430,409 | 120.6 | 0.7 | 395,901 | 92.0 | 0.5 | 369,786 | 101.7 | 0.6 | 553,901 | 149.8 | 0.9 |
| | 計 | 462,030,929 | 107.5 | 14.5 | 503,867,662 | 109.1 | 14.5 | 554,536,390 | 110.1 | 14.4 | 530,853,719 | 95.7 | 13.6 | 536,578,410 | 101.1 | 13.3 |
| 東急観光 | 国内旅行 | 187,706,059 | 112.2 | 8.8 | 190,156,425 | 101.3 | 8.4 | 196,043,808 | 103.1 | 8.0 | 208,073,941 | 106.1 | 8.0 | 210,558,315 | 101.2 | 8.0 |
| | 海外旅行 | 83,803,995 | 116.7 | 8.5 | 87,537,771 | 104.5 | 7.8 | 107,593,979 | 122.9 | 8.2 | 90,736,598 | 84.3 | 7.5 | 96,807,546 | 106.7 | 7.2 |
| | 外国人旅行 | 2,396,761 | 109.2 | 10.9 | 3,603,822 | 150.4 | 13.0 | 3,048,862 | 84.6 | 9.6 | 3,664,787 | 120.2 | 10.6 | 3,189,704 | 87.0 | 9.8 |
| | その他 | 176,961 | 99.4 | 0.3 | 189,658 | 107.2 | 0.3 | 55,570 | 29.3 | 0.1 | 75,629 | 136.1 | 0.1 | 69,801 | 92.3 | 0.1 |
| | 計 | 274,083,776 | 113.5 | 8.6 | 281,487,676 | 102.7 | 8.1 | 306,742,219 | 109.0 | 7.9 | 302,551,046 | 98.6 | 7.7 | 310,625,366 | 102.7 | 7.7 |
| 日本通運 | 国内旅行 | 66,688,160 | 108.7 | 3.1 | 74,434,689 | 111.6 | 3.3 | 84,197,681 | 113.1 | 3.4 | 88,138,274 | 104.7 | 3.4 | 87,293,530 | 99.0 | 3.3 |
| | 海外旅行 | 123,205,126 | 115.9 | 12.4 | 133,400,438 | 108.3 | 11.9 | 144,901,071 | 108.6 | 11.1 | 123,259,449 | 85.1 | 10.3 | 129,012,037 | 104.7 | 9.6 |
| | 外国人旅行 | 1,206,245 | 88.9 | 5.5 | 1,211,387 | 100.4 | 4.4 | 1,366,396 | 112.8 | 4.3 | 1,325,579 | 97.0 | 3.8 | 1,271,783 | 95.9 | 3.9 |
| | その他 | 1,755,885 | 124.7 | 2.9 | 2,086,533 | 118.8 | 3.2 | 2,371,382 | 113.7 | 3.2 | 2,586,870 | 109.1 | 4.0 | 2,910,677 | 112.5 | 4.9 |
| | 計 | 192,855,416 | 113.2 | 6.0 | 211,133,047 | 109.5 | 6.1 | 232,836,530 | 110.3 | 6.0 | 215,310,172 | 92.5 | 5.5 | 220,488,027 | 102.4 | 5.4 |
| 農協観光 | 国内旅行 | 121,497,294 | 101.8 | 5.7 | 109,272,369 | 89.9 | 4.9 | 108,418,316 | 99.2 | 4.4 | 115,570,882 | 106.6 | 4.4 | 119,807,937 | 103.7 | 4.6 |
| | 海外旅行 | 48,435,626 | 105.3 | 4.9 | 46,001,662 | 95.0 | 4.1 | 29,330,303 | 63.8 | 2.2 | 28,762,551 | 98.1 | 2.4 | 31,953,558 | 111.1 | 2.4 |
| | 外国人旅行 | 526,506 | 110.0 | 2.4 | 574,178 | 109.1 | 2.1 | 578,716 | 100.8 | 1.8 | 540,289 | 93.4 | 1.6 | 754,198 | 139.6 | 2.3 |
| | その他 | | | | | | | 4,696,896 | | 6.4 | 4,095,249 | 87.2 | 6.4 | 3,236,210 | 79.0 | 5.5 |
| | 計 | 170,459,426 | 102.8 | 5.3 | 155,848,209 | 91.4 | 4.5 | 143,024,231 | 91.8 | 3.7 | 148,968,971 | 104.2 | 3.8 | 155,751,903 | 104.6 | 3.8 |
| 名鉄観光 | 国内旅行 | 90,294,617 | 112.3 | 4.3 | 101,997,412 | 113.0 | 4.5 | 113,566,715 | 111.3 | 4.6 | 124,850,067 | 109.9 | 4.8 | 127,986,474 | 102.5 | 4.9 |
| | 海外旅行 | 27,567,355 | 123.0 | 2.8 | 31,526,345 | 114.4 | 2.8 | 38,525,811 | 122.2 | 2.9 | 36,818,831 | 95.7 | 3.1 | 45,457,398 | 123.2 | 3.4 |
| | 外国人旅行 | 218,039 | 173.8 | 1.0 | 424,411 | 194.6 | 1.5 | 476,018 | 112.2 | 1.5 | 508,525 | 107.4 | 1.5 | 390,308 | 76.7 | 1.2 |
| | その他 | 5,000,331 | 107.4 | 8.3 | 6,239,380 | 124.8 | 9.6 | 6,827,798 | 109.4 | 9.3 | 7,216,916 | 105.7 | 11.2 | 8,826,822 | 118.7 | 14.5 |
| | 計 | 123,080,342 | 114.4 | 3.9 | 140,187,548 | 113.9 | 4.0 | 159,396,342 | 113.7 | 4.1 | 169,394,339 | 106.3 | 4.3 | 182,661,002 | 107.8 | 4.5 |
| 西鉄旅行 | 国内旅行 | 31,418,014 | 111.2 | 1.5 | 34,419,197 | 109.6 | 1.5 | 38,454,966 | 111.7 | 1.6 | 39,403,043 | 102.5 | 1.5 | 38,603,889 | 98.0 | 1.5 |
| | 海外旅行 | 21,137,310 | 119.9 | 2.1 | 22,281,710 | 105.4 | 2.0 | 25,848,463 | 116.0 | 2.0 | 24,092,271 | 93.2 | 2.0 | 24,048,889 | 99.4 | 1.8 |
| | 外国人旅行 | 371,282 | 91.7 | 1.7 | 36,738 | 104.2 | 1.4 | 681,097 | 176.1 | 2.1 | 619,770 | 91.0 | 1.8 | 773,642 | 124.8 | 2.4 |
| | その他 | 19,145,175 | 99.3 | 31.7 | 20,407,865 | 106.6 | 31.4 | 21,060,730 | 103.2 | 28.8 | 21,273,708 | 100.9 | 33.1 | 21,903,960 | 103.1 | 37.0 |
| | 計 | 72,071,781 | 109.9 | 2.3 | 77,495,510 | 107.5 | 2.2 | 86,045,256 | 111.0 | 2.2 | 85,388,792 | 99.2 | 2.2 | 85,310,380 | 99.8 | 2.1 |

| 年度 社名 商品種別 | | 昭和63年 (1988) | | | 平成元年 (1989) | | | 平成2年 (1990) | | | 平成3年 (1991) | | | 平成4年 (1992) | | |
|---------------|-------|-----------------|-------|-------|----------------|-------|-------|----------------|-------|-------|----------------|-------|-------|----------------|-------|-------|
| | | | 前年比 | 占有率 | | 前年比 | 占有率 | | 前年比 | 占有率 | | 前年比 | 占有率 | | 前年比 | 占有率 |
| 読売旅行 | 国内旅行 | 41,857,832 | 112.3 | 2.0 | 45,929,825 | 109.7 | 2.0 | 51,023,118 | 111.1 | 2.1 | 55,641,465 | 109.1 | 2.1 | 57,752,662 | 103.8 | 2.2 |
| | 海外旅行 | 10,972,277 | 113.8 | 1.1 | 12,094,358 | 110.2 | 1.1 | 13,110,330 | 108.4 | 1.0 | 12,875,834 | 98.2 | 1.1 | 13,719,104 | 106.5 | 1.0 |
| | 外国人旅行 | 109,522 | 84.1 | 0.5 | 233,320 | 213.0 | 0.8 | 11,366 | 4.9 | 0.0 | | | | 159,418 | — | 0.5 |
| | その他 | 74,647 | 90.1 | 0.1 | 53,563 | 71.8 | 0.1 | 25,731 | 48.0 | 0.0 | 52,244 | 203.0 | 0.1 | 48,019 | 91.9 | 0.1 |
| | 計 | 53,014,278 | 112.5 | 1.7 | 58,311,066 | 110.0 | 1.7 | 64,170,545 | 110.0 | 1.7 | 68,569,543 | 106.9 | 1.8 | 71,679,203 | 104.5 | 1.8 |
| 東武トラベル | 国内旅行 | 37,645,648 | 105.1 | 1.8 | 43,619,598 | 115.2 | 1.9 | 49,250,977 | 112.9 | 2.0 | 55,456,581 | 112.6 | 2.1 | 54,986,278 | 99.2 | 2.1 |
| | 海外旅行 | 12,890,750 | 126.2 | 1.3 | 14,106,627 | 109.4 | 1.3 | 17,351,423 | 123.0 | 1.3 | 16,798,810 | 96.8 | 1.4 | 17,844,658 | 106.2 | 1.3 |
| | 外国人旅行 | 172,105 | 70.4 | 0.8 | 373,248 | 216.9 | 1.3 | 397,961 | 106.6 | 1.3 | 363,643 | 91.4 | 1.1 | 335,186 | 92.2 | 1.0 |
| | その他 | 2,549,387 | 116.6 | 4.2 | 2,841,373 | 111.5 | 4.4 | 3,081,096 | 108.4 | 4.2 | 3,238,939 | 105.1 | 5.0 | 3,310,033 | 102.2 | 5.6 |
| | 計 | 53,257,890 | 109.9 | 1.7 | 60,940,846 | 114.4 | 1.8 | 70,081,457 | 115.0 | 1.8 | 75,857,973 | 108.2 | 1.9 | 76,476,245 | 100.8 | 1.9 |
| 日交観 トラベル | 国内旅行 | 22,061,237 | 89.6 | 1.0 | 22,964,824 | 104.1 | 1.0 | 24,155,104 | 105.2 | 1.0 | 19,434,327 | 102.3 | 0.7 | 16,932,897 | 94.6 | 0.6 |
| | 海外旅行 | 1,884,497 | 108.3 | 0.2 | 1,956,824 | 103.8 | 0.2 | 2,254,534 | 115.2 | 0.2 | 2,734,676 | 121.1 | 0.2 | 2,923,947 | 106.9 | 0.2 |
| | 外国人旅行 | | | | | | | | | | | | | — | — | — |
| | その他 | 254,484 | 80.6 | 0.4 | 238,426 | 93.7 | 0.4 | 248,959 | 104.4 | 0.3 | 60,897 | 95.1 | 0.1 | 36,154 | 152.8 | 0.1 |
| | 計 | 24,200,218 | 90.7 | 0.8 | 25,160,046 | 104.0 | 0.7 | 26,658,597 | 106.0 | 0.7 | 22,229,900 | 104.3 | 0.6 | 19,892,998 | 96.3 | 0.5 |
| 京王観光 | 国内旅行 | 28,374,198 | 118.3 | 1.3 | 31,711,805 | 111.8 | 1.4 | 34,778,848 | 109.7 | 1.4 | 37,237,995 | 108.6 | 1.4 | 37,473,255 | 101.1 | 1.4 |
| | 海外旅行 | 9,865,231 | 126.7 | 1.0 | 10,914,322 | 110.6 | 1.0 | 12,349,108 | 113.1 | 0.9 | 10,229,763 | 81.4 | 0.9 | 9,695,998 | 100.5 | 0.7 |
| | 外国人旅行 | 170,494 | 169.8 | 0.8 | 175,647 | 103.0 | 0.6 | 323,837 | 184.4 | 1.0 | 396,849 | 122.5 | 1.1 | 604,134 | 152.3 | 1.9 |
| | その他 | 935,890 | 122.0 | 1.6 | 1,193,889 | 127.6 | 1.8 | 1,620,634 | 135.7 | 2.2 | 485,602 | 39.2 | 0.8 | 201,397 | 76.2 | 0.3 |
| | 計 | 39,345,813 | 120.6 | 1.2 | 43,995,663 | 111.8 | 1.3 | 49,072,427 | 111.5 | 1.3 | 48,350,209 | 99.9 | 1.2 | 47,884,784 | 101.1 | 1.2 |
| 12社合計 | 国内旅行 | 2,123,958,560 | 101.8 | 100.0 | 2,252,889,163 | 106.1 | 100.0 | 2,448,288,110 | 108.7 | 100.0 | 2,606,102,437 | 106.6 | 100.0 | 2,615,711,258 | 100.1 | 100.0 |
| | 海外旅行 | 990,183,481 | 120.0 | 100.0 | 1,121,090,782 | 113.2 | 100.0 | 1,306,003,964 | 116.5 | 100.0 | 1,201,828,837 | 91.6 | 100.0 | 1,339,522,026 | 111.5 | 100.0 |
| | 外国人旅行 | 22,050,445 | 100.8 | 100.0 | 27,823,374 | 126.2 | 100.0 | 31,712,834 | 114.0 | 100.0 | 34,538,646 | 108.9 | 100.0 | 32,422,438 | 93.9 | 100.0 |
| | その他 | 60,378,068 | 105.5 | 100.0 | 65,070,652 | 107.8 | 100.0 | 73,090,080 | 112.3 | 100.0 | 64,232,046 | 89.8 | 100.0 | 59,152,298 | 92.1 | 100.0 |
| | 計 | 3,196,569,554 | 106.9 | 100.0 | 3,466,873,971 | 108.5 | 100.0 | 3,859,094,988 | 111.3 | 100.0 | 3,906,701,966 | 101.2 | 100.0 | 4,046,960,330 | 103.7 | 100.0 |

(注) 1. 鉄旅協「販売概況」による。

2. KNT国内旅行には、近鉄受託券を含む。